

令和●年度分 保育所や幼稚園等における虐待対応状況等調査

(様式1) 対応状況票

記入方法:

赤色 のセルは、チェック(☑)で**選択**してください

水色 のセルは、必要事項を**記入**してください。

※行や列の幅は変更しても差し支えありませんが、追加・削除はしないでください。

※指定都市等(指定都市・中核市・児童相談所設置市)は、2(2)～(4)は任意回答です。

都道府県名:

市区町村名:

部局課名:

電話番号:

担当者:

1 自治体の体制

	該当の有無
(1) 自治体独自の虐待対応のマニュアル、業務指針、対応フロー図のいずれかを作成している ※市町村においては、都道府県作成のものを活用している場合も含む。	<input type="checkbox"/>
(2) 虐待が疑われる事案について、原則として複数名で対応(事実確認・虐待の有無の判断等)する体制を取っている	<input type="checkbox"/>
(3) 自治体の担当職員に対して、虐待防止に関する研修の実施や外部研修の案内を行っている ※市町村においては、都道府県実施の研修の案内を行っている場合も含む。	<input type="checkbox"/>
(4) 虐待を発見した場合に適切な機関に通報ができるよう、制度及び窓口について周知している ※周知とは、例えば所管する施設への連絡や、掲示、公式HP等での発信等。	<input type="checkbox"/>
(5) 施設等職員等に対して、研修の実施など虐待について理解できるよう必要な措置を講じている	<input type="checkbox"/>

2 自治体間の連携 **※指定都市等は(1)のみ必須回答、(2)～(4)は任意回答**

	該当の有無
(1) 通報があった場合の都道府県と市町村の担当部署間の連絡ルート(今年度の連絡先含む)を把握している	<input type="checkbox"/>
(2) 通報内容に応じた対応方法を都道府県と市町村の間であらかじめ協議している	<input type="checkbox"/>
(3) 都道府県と市町村の担当部署とで虐待対応実務者会議等の会議体を設定して協議している ※会議体は常設・臨時の別を問わない。	<input type="checkbox"/>
(4) 立入調査を行う場合の対応方法を都道府県と市町村の間であらかじめ協議している	<input type="checkbox"/>

令和●年度分 保育所や幼稚園等における虐待対応状況等調査

(様式2)個別事案票

記入方法:

赤色 のセルは、プルダウンまたはチェック(☑)で**選択**してください

水色 のセルは、必要事項を**記入**してください。

※行や列の幅は変更しても差し支えありませんが、追加・削除はしないでください。

※虐待と判断しなかった事案については、以下の項目のみ回答してください。

1 概要
2 発見・届出(通報)の状況(1)(2)
5 虐待の内容(こどもの状況の把握及び事実確認)(1)

都道府県名:

市区町村名:

事例番号: 1,2,3,..

貴自治体で対応された保育所や幼稚園等における虐待に係る事案について、事案ごとにお伺いします。複数の事案に対応した場合は、シートをコピーして1事案につき1枚記入してください。

1 概要

事案の概要について、(1)虐待の種類、(2)事案が起こった施設等の種別、(3)場所について該当するものをチェック(☑)してください。

※(1)虐待の種類について、通報等があったが最終的に虐待と判断しなかった事案については、「虐待と判断しなかった」にチェック(☑)してください。

	該当の有無等
(1) 虐待の種類(複数回答可)	
身体的虐待	<input type="checkbox"/>
性的虐待	<input type="checkbox"/>
ネグレクト	<input type="checkbox"/>
心理的虐待	<input type="checkbox"/>
虐待と判断しなかった	<input type="checkbox"/>
(2) 施設等の種別(複数回答可)	
保育所	<input type="checkbox"/>
幼稚園	<input type="checkbox"/>
特別支援学校幼稚部	<input type="checkbox"/>
幼保連携型認定こども園	<input type="checkbox"/>
保育所型認定こども園	<input type="checkbox"/>
幼稚園型認定こども園	<input type="checkbox"/>
地方裁量型認定こども園	<input type="checkbox"/>
小規模保育事業	<input type="checkbox"/>
家庭的保育事業	<input type="checkbox"/>
事業所内保育事業	<input type="checkbox"/>
居宅訪問型保育事業	<input type="checkbox"/>
一時預かり事業	<input type="checkbox"/>
病児保育事業	<input type="checkbox"/>
乳児等通園支援事業	<input type="checkbox"/>
放課後児童健全育成事業	<input type="checkbox"/>
児童館	<input type="checkbox"/>
児童育成支援拠点事業	<input type="checkbox"/>
子育て短期支援事業	<input type="checkbox"/>
認可外保育施設	<input type="checkbox"/>
(3) 事案が起こった場所(複数回答可)	
乳児室	<input type="checkbox"/>
ほふく室	<input type="checkbox"/>
医務室	<input type="checkbox"/>
保健室	<input type="checkbox"/>
調理室	<input type="checkbox"/>
トイレ	<input type="checkbox"/>
保育室	<input type="checkbox"/>
遊戯室	<input type="checkbox"/>
屋外遊戯場・広場・運動場	<input type="checkbox"/>
集会室	<input type="checkbox"/>
図書室	<input type="checkbox"/>
職員室	<input type="checkbox"/>
水遊び場	<input type="checkbox"/>
会議室	<input type="checkbox"/>
廊下又は階段	<input type="checkbox"/>
バルコニー、ベランダ	<input type="checkbox"/>
車内	<input type="checkbox"/>
施設等内の他の建物	<input type="checkbox"/>
敷地外	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>
不明	<input type="checkbox"/>

事案の概要について、(4)事案が起こった時間帯を記入してください。また、(5)事案が起こった時間帯の日課について該当するものをチェック(☑)してください。

※(4)時間帯について、把握している範囲で概ねの時間帯を記入しても差し支えありません。時間は24時間表記で記入してください。自治体が情報を把握していない場合は空欄としてください。

※(5)時間帯(日課別)の「施設外からのサービス提供の時間」は、施設等の敷地を使って、外部の事業者等が付加的なサービス(体操教室等)を提供する時間を指します。

(4) 事案が起こった時間帯(時間別)	
例:12	時から 例:14 時

(5) 事案が起こった時間帯(日課別)(複数回答可)

登園時・登所時	<input type="checkbox"/>
保育時間/遊びの時間(行事・イベント等を除く。)	<input type="checkbox"/>
行事・イベント時	<input type="checkbox"/>
施設外からのサービス提供の時間	<input type="checkbox"/>
運動・スポーツ時間(小学生以上)	<input type="checkbox"/>
学習時間(小学生以上)	<input type="checkbox"/>
食事中(おやつ含む)	<input type="checkbox"/>
午睡時	<input type="checkbox"/>
着替え時	<input type="checkbox"/>
休息	<input type="checkbox"/>
降園時・降所時	<input type="checkbox"/>
保育所等の車両による送迎時	<input type="checkbox"/>
清掃時間	<input type="checkbox"/>
排せつ時	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>
不明	<input type="checkbox"/>

事案の概要について、(6)虐待行為の発生していた期間、(7)虐待行為の回数を選択してください。

※(7)虐待行為の回数について、心理的虐待やネグレクト等で継続的に虐待行為を行っている場合は「常時」を選択してください。

	該当の有無等	
(6) 虐待行為の発生期間		1週間以内/1週間～1ヶ月以内/1ヶ月～6ヶ月/6ヶ月以上/不明
(7) 虐待行為の回数		1回/2回/3回/4回/5回/6回/7回/8回/9回/10回以上/常時(ネグレクト等で継続的に虐待行為を行っている場合)/不明

2 発見・届出(通報)の状況

自治体が当該事案について発見、または届出(通報)を受けた状況について、(1)受付日時、(2)発見・届出(通報)の状況を記入ください。

※1つの事案に関して複数の届出(通報)を受けた場合、(1)受付日時については最初に受けた届出(通報)の日時を記入のうえ、以降の届出(通報)については、「他〇名から通報あり」と通報数を記入してください。

(2)状況、内容について、複数の届出(通報)を受けたことも含めて自治体にて把握されている経緯を自由にご記入いただいて差し支えありません。

※事実確認で把握した詳しい内容については、「5 虐待の内容(こどもの状況の把握及び事実確認)」でお伺いしますので、ここで記入いただく必要はありません。

具体的な内容 (記入)	
(1)届出(通報)を受けた日時(令和〇年〇月〇日〇時) ※最初の通報は必須、以降の届出(通報)については、「他〇名から通報あり」と通報数を記入	例: 令和7年11月26日17時頃。その後、他1名から同様の通報あり。
(2)状況、内容等 ①だれ(通報者)が、②いつ、③どこで、④どのような状況を見つけたか、⑤どのような連絡手段で届出(通報)を行ったか記入する。 ※発見・届出(通報)を行った者の個人が特定される情報を記入しないよう配慮すること(「職員」等と記載)	例: 施設の職員が、11月26日に施設内で別の職員の虐待行為を目撃したとして、匿名の電話にて〇〇課へ通報があった。その後、同様の匿名の電話の通報が1件あった。 通報を受け、翌11月27日に自治体から施設へ電話で聞き取りを行ったうえで、12月28日に施設に訪問して事実確認を行った。

3 虐待を受けた子ども ※虐待と判断した事案のみ回答

虐待と判断した事案について、虐待を受けた子どもの就学の状況等をお伺いします。職員等が複数の子どもに虐待行為を行っていた場合は、子どもごとにお答えください。

※満年齢等、自治体が把握していない情報があれば空欄のままとしてください。

※子どもが受けた虐待の種類については、該当するものにすべて○をつけ、主な類型1つに◎をつけてください。主な類型を選択することができない場合は、すべて○のままとしてください。

※ネグレクトの場合、当該子どもと他の子ども・職員等との間に発生している暴力の問題、性的な問題、心理的な問題などが放置されている場合があります。

このような問題の放置の状況が確認されている場合は「他の子ども等との間の問題が放置された」をチェック(☑)し、放置されていた問題について被害・加害の状況を選択してください。

	就学等状況	満年齢 (4月1日 時点)	性別	施設等の種別	該当する類型にすべて○、うち主な類型1つに◎				(ネグレクトに該当する場合、 他の子ども等との間の問題の放置について選択)			
					身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	ネグレクト	他の子ども等 との間の問題 が放置された	(暴力の問題)	(性的な問題)	(心理的な問題)
子どもA									<input type="checkbox"/>			
子どもB									<input type="checkbox"/>			
子どもC									<input type="checkbox"/>			
子どもD									<input type="checkbox"/>			
子どもE									<input type="checkbox"/>			
子どもF									<input type="checkbox"/>			
子どもG									<input type="checkbox"/>			
子どもH									<input type="checkbox"/>			
子どもI									<input type="checkbox"/>			
子どもJ									<input type="checkbox"/>			

0歳児クラス/1歳児
クラス/2歳児クラス
/3歳児クラス/4歳児
クラス/5歳児クラス/
異年齢構成/小学校
/中学校以上/不明/
その他

↑ 数値入力

男/女

保育所/幼稚園/特
別支援学校幼稚部/
認定こども園/小規
模保育事業/家庭的
保育事業/事業所内
保育事業/居宅訪問
型保育事業/一時預
かり事業/病児保育
事業/乳児等通園支
援事業/放課後児童
健全育成事業/児童
館/児童育成支援拠
点事業/子育て短期
支援事業/認可外保
育施設

◎/○/× ◎/○/× ◎/○/× ◎/○/×

被害者/加害者/被
害者・加害者/不明 被害者/加害者/被
害者・加害者/不明 被害者/加害者/被
害者・加害者/不明

4 虐待を行った職員等 ※虐待と判断した事案のみ回答

虐待と判断した事案について、虐待を行った職員等の情報をお伺いします。複数の職員等が行為に関わっていた場合、職員ごとにお答えください。

※実務経験について、当該職種についての経験年数を記入してください。自治体が情報を把握していない場合は空欄としてください。

※管理者でその他の職種(保育士等)を兼ねている場合は、管理者として計上してください。また、管理者以降の職種も同様に、主な職種の一つを計上してください。

※保育補助者は、児童等と日常的に接触することが想定される保育士の業務を補助する者を指します。

※放課後児童健全育成事業に従事する職員で放課後児童支援員の資格を有しない職員については「その他職員」を選択してください。

※雇用形態の非常勤については、下記の定義を参考にお答えください。

非常勤(直接雇用):施設等が職員等と直接雇用契約を結び、施設等が給与を支払う雇用形態

非常勤(間接雇用):職員等が派遣会社等と雇用契約を結び、派遣会社等と施設等の契約を通じて、施設等で勤務する雇用形態

	職種等	満年齢 (4月1日 時点)	性別	実務経験年数		雇用形態
				年	月	
職員等A						
職員等B						
職員等C						
職員等D						
職員等E						
職員等F						
職員等G						
職員等H						
職員等I						
職員等J						

管理者/保育士/幼
稚園教諭/保育教諭
/放課後児童支援員
/児童厚生員/児童
指導員/子育て支援
員/調理員・栄養教
諭/医師/看護師・養
護教諭/児童福祉士

↑ 数値入力

男/女

↑ 数値入力 ↑ 数値入力

常勤/非常勤(直接
雇用)/非常勤(間接
雇用)/不明

5 虐待の内容(こどもの状況の把握及び事実確認)

当該事案に関して自治体にて把握・確認した事実について、(1)虐待(虐待が疑われた行為)が行われた日時・場所、関係者、状況等と(2)虐待を行った職員等の状況についてご記入ください。

※最終的に虐待と判断しなかった事案については、(2)虐待を行った職員等の状況の記入は不要です。

※特定の子どもや職員等を指して記入するにあたり、「子どもA」「職員A」など、「3 虐待を受けた子ども」「4 虐待を行った職員等」の呼称を用いてください。(「7 虐待を行った職員等への施設等の対応」以降も同様。)

具体的な内容 (記入)	
(1)虐待(虐待が疑われる行為)が行われた日時・場所、関係者、状況等	
日時・場所 (いつ、どこで行われたか)	例: 11月26日に保育室で行われた。
行為の内容 (だれが、だれに対して何を行ったか。また、周囲の関係者の認知の状況)	例: 職員等Aが子どもAを大声で叱責し、腕を強く掴んで椅子に座らせた。
虐待を受けたこどもの状況 (被害の訴えの内容、外傷の有無、心理状態等)	例: ・子どもAは「泣いたらみんなに嫌われるって言われた」と発言した。 ・腕には一時的に掴まれた痕が残った。 ・叱責場面では硬直し、涙を堪えていた。
被害を受けた子ども以外のこどもの状況 (虐待被害の有無・影響)	例: 子どもA以外の子どもに対する虐待行為は確認されていない。一方で、同じ保育室内で職員等Aの大きな声や強い制止場面を複数の子どもが目撃しており、その直後に数名の子どもが泣く、職員の動きを過度に伺う、遊びが一時的に停止するといった不安の表出があった。
事案に対する保育所等としての判断(被害の訴えの内容に対する認識、意見)	例: 子どもAの恐怖の表出および複数の目撃情報から、こどもの心理的安全を損なう行為であり、虐待に該当すると判断した。
施設等から関係機関への連絡の状況 (都道府県や市町村、事案によっては警察)	例: 事案発生当日に、保育所の職員から〇〇課へ電話で状況の通報があった。
虐待を受けた子どもに対する施設等の対応 (医師による診断、治療の状況、子どもへ謝罪等の状況等) ※虐待の事実が確認された後の職員や体制への対応は7へ記載	例: ・事案発生当日に保護者に説明のうえ医療機関を受診し、医師による診察を受けた。診断の結果、重大な外傷は認められず、経過観察とされた。 ・管理者が保護者同席のもと、子どもに対して不安を与えたことについて謝罪を行った。
その他	
(2)虐待を行った職員等の状況 ※虐待と判断した事案のみ回答	
<ul style="list-style-type: none"> 虐待にあたる行為に対する認識(行為に対する自覚の有無等) 虐待を行った時の感情的要因(感情的になった出来事の内容、感情のコントロール、本人の普段の特性等) 教育・保育姿勢の問題(保育に対する姿勢、技術や経験の課題等) 虐待発生時の施設の体制(職員の負担の状況、職員同士のフォローの状況等)等 	例: ・職員等Aは当該行為を「しつけの一環」と認識し、虐待に該当する自覚はなかった。 ・職員等Aは普段から注意や制止の場面で声が大きくなりやすい特性があったが、冷静な対応が困難な状態となった。その結果、強い口調での制止から身体を使った強い制止へと段階的にエスカレーションし、感情のコントロールが効かない状態で虐待を行った。 ・虐待発生直前に他職員が急に欠勤したため、当日は業務負担の集中と引き継ぎ情報の混乱が重なった。 ・本人は普段から「強い制止や大きな声は安全確保のために必要」と捉える傾向があり、こどもの心理的負荷や萎縮反応を軽視していた。 ・職員間の振り返りや指摘・フォローが常態化していない組織文化の影響もあり、指導技術や対応ノウハウの蓄積が個人依存となっていた。

6 検証・改善委員会 ※虐待と判断した事案のみ回答

虐待と判断した事案について、当該法人・施設等と自治体における検証・改善委員会の設置の状況についてお伺いします。

※検証・改善委員会は、当該事案の検証・改善のために法人・施設又は自治体において設けられる会議体を指し、自治体に設置されている児童福祉審議会は対象外です。

※検証・改善委員会を設置していない場合は、(1)設置の有無で「設置していない」を選択し、(2)以降は空欄のままとしてください。

	実施状況(法人・施設等)	実施状況(自治体)	
(1)設置の有無			設置した/設置していない
(2)検証状況			継続中/終了済
(3)開催回数			1回/2回/3回/4回/5回/6回/7回/8回/9回/10回以上
(4)構成メンバー			
自治体職員	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
児童相談所職員	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
弁護士	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
学識経験者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
当該法人以外の施設関係者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
医師	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
社会福祉士	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

7 虐待を行った職員等への施設等の対応 ※虐待と判断した事案のみ回答

虐待と判断した事案について、当該施設等が虐待を行った職員へ実施した対応について、自治体にて把握している内容をお伺いします。

施設が対応を実施している項目は「○」、実施していない項目は「×」を選択してください。

自治体から施設に確認を行ったが回答が得られなかった場合は「施設からの回答なし」を選択、自治体として特に確認を行っていない場合は空欄のままとしてください。

	実施状況	具体的な内容・補足事項 (記入)
虐待を行った職員等への対応		
配置転換(子どもと接しない業務への変更)		例: 職員等Aを保育室での勤務から事務業務へ一時的に配置転換した。
各種研修への参加		例: 傾聴技術に関する研修を対面1回、eラーニング3回で実施した。
心理治療・通院等 ※把握できる範囲で記入		例: 職員等Aは心理士によるカウンセリングを受けた。/職員等Aの心理治療・通院等は自治体が把握する限りでは行われていない。
継続的な面接		例: 管理者が職員等Aと保育姿勢を振り返るための面談を月に1度3か月間実施した。
処分(懲戒処分・出勤停止・減給等)の有無		例: 職員等Aの懲戒処分を行った。
その他		

○/×/施設からの回答なし

8 虐待の事実が確認された後の施設等による対応 ※虐待と判断した事案のみ回答

虐待と判断した事案について、虐待の事実が確認された後に、当該施設等が実施した対応についてお伺いします。

自治体にて把握している内容をご記入ください。特に把握していない場合は、空欄のままとしてください。

	具体的な内容 (記入)
(1) 施設内における体制への対応	
検証委員会、再発防止委員会等の設置、ケース会議等	例: 再発防止委員会を設置し、虐待案件の報告とその後行った防止対策について意見を聞いた。
職員支援体制、自己点検等	例: 職員等Aを含む全職員の心理的負荷と業務集中の有無を確認する管理者面談を2回実施し、保育姿勢と感情統制の振り返り点検を行った。
勤務体制、リスクマネジメント等	例: 1人の職員に業務負担が集中しないよう、下限人数ルールとシフト重複で勤務体制をルールとして導入した。
研修体制等	例: 虐待防止に関する研修を実施し、研修を受講した職員等の受講記録の作成を求めた。受講記録は自治体に報告を行った。
記録、計画、マニュアル等の改善	例: 1月30日に虐待防止に関する研修を実施し、研修を受講した職員等の受講記録の作成を求めた。各職員の受講記録を自治体に提出した。
施設設備の改善	例: 見守りカメラを各保育室へ設置した。
(2) 子どもへの対応(被害を受けた子ども以外の子どもへの対応を含む。) (①いつ、②だれが、③どのような対応を行ったか、④他の機関と連携したか)	例: ・1月4日に心理士が被害を受けた子どもAへの心理的ケアを行った。 ・1月10日に保育所の主任保育士が当該事案を見聞きした被害を受けた子ども以外の子どもについて、個別に声掛けするなど不安の軽減を図る関わりを行った。自治体が確保する心理職に相談し、不安の高い子どもへの対応方法について助言を得た。
(3) 保護者等への対応(被害を受けた子どもの保護者以外の保護者への対応を含む。) (①いつ、②だれが、③どのような対応を行ったか、④他の機関と連携したか)	例: 1月6日に管理者が保護者に対して説明会を開き、謝罪と状況説明を行った。特段、連携は行っていない。

9 虐待の事実が確認された後の自治体による対応 ※虐待と判断した事案のみ回答

虐待と判断した事案について、虐待の事実が確認された後に、自治体において実施した対応についてお伺いします。

※(1) 自治体が講じた措置等について、該当するものがあればチェックのうえ、措置の具体的な内容を記入してください。

※(2)～(4)について、自治体にて実施した対応があれば記入してください。自治体で対応を実施していない場合は、空欄のままとしてください。

	実施状況	具体的な内容・補足事項 (記入)
(1) 自治体が講じた措置等		
改善勧告(児童福祉法、認定こども園法)	<input type="checkbox"/>	例: 文書による改善指導を行うとともに、月に1度の改善報告の提出を指示した。
改善命令(児童福祉法、認定こども園法)	<input type="checkbox"/>	例: 「こどもの心理に有害な影響を与える行為がないよう保育にあたること」という内容の改善命令を出した。
業務停止命令(児童福祉法、認定こども園法)	<input type="checkbox"/>	例: 履行期限を過ぎても改善命令が履行されない状態のため、児童福祉審議会の意見を聞き、保育サービスの提供を90日間停止する業務停止命令を行った。
認可・認定取り消し(児童福祉法、認定こども園法)	<input type="checkbox"/>	例: 履行期限を過ぎても改善命令が履行されず、施設の職員複数によるこどもへの虐待行為も継続して行われていたことから、こどもの安全確保が難しいと判断し、認可・認定取り消しを行った。
変更命令(学校教育法)	<input type="checkbox"/>	例: 履行期限を過ぎても改善勧告が履行されない状態のため、教育課程及び指導計画の是正を求める変更命令を行った。
閉鎖命令(学校教育法)	<input type="checkbox"/>	例: 履行期限を過ぎても変更命令が履行されず、事案に関する虚偽の報告や記録の不備が認められことから、閉鎖命令を行った。
その他の行政指導	<input type="checkbox"/>	
具体的な内容 (記入)		
(2) 施設職員等・体制面への対応		
改善状況の確認等		例: 保育所に対して報告書と再発防止策の提出を求めた。提出内容を確認し、定期的に園を訪問した。巡回指導の中で食事の様子を重点的に確認した。
職員支援体制の整備等		例: 保育所に対して虐待対応に関する外部専門家の紹介を行った。
研修等		例: 保育所に対して虐待防止に関するeラーニング型の研修を実施した。
その他		
(3) こどもへの対応(被害を受けたこども以外のこどもへの対応を含む。) (①いつ、②だれが、③どのような対応を行ったか、④他の機関と連携したか)		例: 11月27日に自治体職員が保護者に説明を行った上でこどもAを心理的支援につないだ。医療機関や児童相談所と連携し、助言を得た。
(4) 保護者等への対応(被害を受けたこどもの保護者以外の保護者への対応を含む。) (①いつ、②だれが、③どのような対応を行ったか、④他の機関と連携したか)		例: 11月30日に自治体職員がこどもAと同一クラス等に在籍するこどもの保護者に対し、個人が特定されないよう配慮したうえで、事案の概要及び保育所における対応状況について説明を行い、不安や質問に対応した。特段、連携は行っていない。